

# 一般入試前期B日程

## 日本史

### I

#### ■出題のねらい

古代の政治史・社会経済史を中心に出题しました。Aでは、ヤマト政権による中央集権化について述べたリード文を示し、改新の詔や班田収授法、律令国家の土地制度など基本的な知識を問いました。Bでは、律令体制の動揺をテーマとしたリード文を示し、桓武天皇の施策や荘園整理令の内容、国司の役割などについての幅広い知識を問いました。

#### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題はありませんでした。正答率が低かった（20%以下）問題は1、5、8です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
I	1	④	X誤り。名代・子代ではなく田部。名代・子代は大王家の直轄民。 Y誤り。部曲は豪族の私有民。豪族の私有地は田荘。
	2	②	中大兄皇子は667年に近江大津宮に遷都、翌年に即位して天智天皇になった。
	3	③	ウ大宝律令は文武天皇のもとで制定された。 カ三世一身法（723年）は長屋王政権のもとで出されたもので、これにより期限付きでの土地の私有が認められた。
	4	④	①戸籍は6年ごとに作成された。 ②賤民のうち官有の者は良民と同じだけ口分田が班給された。 ③口分田は死亡後に最初に行われる班田の際に収公された。
	5	①	②功田は輸租田。 ③職田ではなく賜田。職田は官職に応じて支給された。 ④寺院・寺社にも開墾は認められていた。
	6	②	①史料上最後の班田は902年、醍醐天皇のときである。 ③藤原種継ではなく藤原緒嗣。藤原種継は長岡京造営の責任者で、785年に暗殺された。 ④桓武天皇ではなく、嵯峨天皇の施策。
	7	④	ク元慶官田は畿内に設けられた直営田。 ケ藤原忠平は時平の弟で、朱雀天皇のもとで摂政・関白をつとめた。

大問	解答 番号	正答	解 説
I	8	②	①三善清行が醍醐天皇に「意見封事十二箇条」を提出したのは914年で、延喜の荘園整理令（902年）が出された後のことである。 ③券契が明らかで、国務を妨げない荘園は例外的に公認された。 ④延久の荘園整理令（1069年）の内容。
	9	①	X Y正しい。

## II

### ■出題のねらい

中世と近世の政治史を中心に出题しました。Aでは、後醍醐天皇についてのリード文を示し、元弘の変から討幕、南北朝の対立まで、一連の動きに関する正しい理解を求めました。Bでは、江戸時代の列強の接近についてのリード文を示し、ゴローニン事件、異国船打払令などについての基本的な知識を問いました。

### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題はありませんでした。正答率が低かった（20%以下）問題は12、19、20、21です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
II	10	②	正中の変（1324年）では処罰されなかったが、2度目の討幕計画である元弘の変（1331年）の際には後醍醐天皇は隠岐に配流された。
	11	④	新田義貞が鎌倉を攻めて北条高時を自害に追い込み、鎌倉幕府は滅亡した。
	12	⑥	1335年、北条高時の子である北条時行が鎌倉幕府の再興をはかり挙兵した（中先代の乱）。
	13	②	①幕府・摂政・関白は廃止された。 ③武者所の長官は新田義貞。足利尊氏は建武政府では役職に就かなかった。 ④建武の新政において貨幣の铸造が計画されたとされるが、実際には乾元大宝（958年）の铸造以降、貨幣は铸造されていない。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅱ	14	④	X 誤り。光厳天皇ではなく光明天皇。光厳天皇は元弘の変後、後醍醐天皇にかわって即位した。 Y 誤り。室町幕府は幕府の基本法として御成敗式目・式目追加を引き継ぎ、室町幕府が追加したものは建武以来追加といわれた。建武式目は、1336年に足利尊氏が出した政治の基本方針。
	15	①	②当初、半済令は京都の後背地に位置する近江・美濃・尾張の3か国を対象に、1年限定で出された。 ③懐良親王は今川貞世が九州探題につくと劣勢となり、九州の南朝勢力は衰えた。 ④自検断ではなく使節遵行。自検断は惣の構成員が警察権を行使すること。
	16	②	『赤蝦夷風説考』の著者は仙台藩医工藤平助。
	17	③	1792年にロシア使節ラクスマンが来航したのは根室。
	18	⑥	1804年、ラクスマンが持ち帰った信牌を携えて長崎に来航したのはレザノフ。
	19	③	X 誤り。樺太ではなく国後島。 Y 正しい。
	20	①	②異国船打払令ではオランダ船・中国船は対象外とされた。 ③安政の大獄ではなく蛮社の獄。安政の大獄（1858～59年）は井伊直弼による政治弾圧。 ④アロー戦争ではなくアヘン戦争。アロー戦争での清国の敗北が影響を与えたのは日本の日米修好通商条約調印である。
	21	④	①シーボルトが教えたのは高野長英・伊東玄朴ら。 ②『大日本沿海輿地全図』を作成したのは間宮林蔵ではなく伊能忠敬。 ③シーボルトに日本地図を渡したとして投獄されたのは天文方の高橋景保。 長崎奉行松平康英はフェートン号事件の責任を負って自刃した。

### III

#### ■出題のねらい

近代の社会経済史や政治史などを総合的に出題しました。Aでは、開国以降の海運をテーマとしたリード文を示し、明治初期の社会の動きや産業の発展、第一次世界大戦に関する基本的な知識など、幅広く問いました。Bでは、桂園内閣に関するリード文を示して、2個師団増設問題や、尾崎行雄の演説、第1次山本内閣のときの出来事など、政治史を中心として幅広く出題しました。

#### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は24です。正答率が低かった（20%以下）問題は23、27、30です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
III	22	②	ア前島密は郵便制度を立案・発足させた人物。 エ豪州航路は1896年に日本郵船が開設したもので、おもにオーストラリアから羊毛が運ばれた。
	23	②	I 士族の特権の廃止、廃刀や徴兵令、近代軍制の設立を構想した大村益次郎は士族の反感を買い、1869年に襲われ負傷し、亡くなった。 →III 1874年、征韓派の前参議江藤新平が郷里の佐賀で反乱を起こした（佐賀の乱）。 →II 1876年、廃刀令や秩禄処分不満を持つ熊本県士族が太田黒伴雄を中心に蜂起した（敬神党の乱）。
	24	②	①金本位制をめざしたが、アジアでは銀本位制が主流だったため、実際には金銀複本位制がとられた。 ③大阪紡績会社は綿花などから糸を紡ぐための工場で、生糸の生産には関係ない。 ④日本興業銀行ではなく、日本勧業銀行の説明。
	25	①	②三国協商と三国同盟が逆。 ③『中央公論』ではなく『東洋経済新報』。 ④ロシアはロシア革命への対処もあり、1918年に第一次世界大戦から離脱した。シベリア出兵は列強諸国によるロシア革命への干渉戦争である。
	26	④	1930年、井上準之助蔵相のもとで金輸出解禁（金解禁）が断行された。旧平価で解禁したため、実質的に金の切上げ（円高）となった。
	27	①	X Y正しい。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅲ	28	④	ケ内大臣は天皇を補佐する役職。宮内大臣は皇室関係の事務を行う宮内省の長官。 サ憲政会は、立憲同志会を発展させて、1916年に結成された。
	29	①	①尾崎行雄は内閣不信任決議案提出の際に、勅語を濫用する桂内閣を弾劾する演説を行った。 ②大日本帝国憲法発布の翌日に、黒田清隆首相が行った超然主義演説。 ③第一回帝国議会で山県有朋首相が行った施政方針演説。 ④第一次世界大戦についての井上馨の提言。
	30	③	①軍部大臣現役武官制を改正して、補任資格を予備役・後備役に拡大した。 ②立憲同志会は桂の死後に、加藤高明を総裁に結成された。 ④虎の門事件（1923年）は第2次山本内閣の総辞職理由。第1次山本内閣は海軍高官による汚職事件であるシーメンス事件（1914年）で総辞職した。

## Ⅳ

### ■出題のねらい

遺跡の出土品や古墳に関する基本的な知識から、日米安全保障条約の内容や、新安保条約をめぐる日本国内の動きにいたるまで、時代と分野を限定せず、基本事項を幅広く出題しました。

### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題も低かった（20%以下）問題もありませんでした。  
各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅳ	31	③	①銅戈・④銅矛は九州北部。 ②銅剣は細形のものは九州北部。平形のものは瀬戸内海周辺に分布した。
	32	①	②前期古墳の被葬者は司祭者的首長。武人的首長が埋葬されたのは中期。 ③東北地方を含む全国に分布した。 ④前方後円墳は中期まで巨大化したが、後期には規模は縮小した。また、大仙陵古墳は中期の古墳である。後期の古墳は高松塚古墳など。
	33	②	X正しい。 Y誤り。養老律令は不比等が編纂し（718年）、孫の仲麻呂が施行した（757年）。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅳ	34	④	①西面の武士ではなく北面の武士。西面の武士を置いたのは後鳥羽上皇。 ②院の御所の警護にあたったのは北面の武士。西面の武士は、鎌倉時代に後鳥羽上皇が設置した。 ③後白河上皇ではなく鳥羽上皇。後白河上皇が長講堂に寄進した荘園群を長講堂領という。
	35	②	①梶原景時は1200年、③三浦泰村は1247年（宝治合戦）、④和田義盛は1213年（和田合戦）に滅ぼされた。
	36	②	①一条兼良は『公事根源』などを著した。 ③金沢実時は金沢文庫を設置した、鎌倉時代の武士。 ④北畠親房は『神皇正統記』などを著した。
	37	①	②林鳳岡ではなく林羅山。林鳳岡を用いたのは5代将軍徳川綱吉。 ③和子を後水尾天皇に嫁がせ、のちの明正天皇の外祖父となった。 ④秀忠も家康以来の側近による政治を行った。幕府の職制が整備されるのは3代将軍徳川家光のとき。
	38	③	①琉球の日本への帰属は、日清戦争において日本が勝利したことで解決した。 ②琉球漂流民殺害事件（1871年）がきっかけに行われたのは台湾出兵（1874年）。また、1872年に設置された琉球藩が1879年に廃止されて沖縄県が設置されると、尚泰は東京居住を命じられた。 ④台湾が日本の領土になったのは下関条約による。
	39	④	①芸術座は文芸協会を脱退した島村抱月・松井須磨子らが結成した新劇団体、 ②自由劇場は1909年に小山内薫や2代目市川左団次らが結成した新劇団体、 ③築地小劇場は1924年に小山内薫・土方与志らが結成した新劇団体。
	40	②	X正しい。 Y誤り。岸内閣は新安保条約が発効した後に総辞職した。